

2005
2006Deutschland
in Japan
日本における
ドイツ日本における
ドイツ05/06
のロゴマーク

熊本・ハイデルベルク友の会は今年で創立10周年、熊本日独協会は1962（昭和37）年に創立され、43年目を迎えました。

協会創立30周年の節目の年、92年に熊本市とハイデルベルク市が友好都市となりました。

その原動力となったハイデルベルク・熊本友の会に呼応して、協会内に熊本側の友の会が作られ、二枚看板となりました。一昨年から文字通り一体化され、現在、協会員はそのまま友の会の会員です。約200人の会員、維持会員（法人）の活動です。協会は個々の会員のNGO活動、芸術文化、経済活動ほか多様な交流活動を支援していますが、留学生の支援やホームステイの受け入れ、来熊ドイツ人の応接などドイツもしくはドイツ語圏の国々、独日協会、友人たちとの草の根の活動が続けられてきました。

ドイツ語講座も初級、中級講座があります。協会員による合唱団も誕生しました。その名は「コール・クライゼル」。クライゼルとは独楽、ドイツを楽しもうとの思いで



昨秋、その名も「コール・クラムゼル」と名前がついた熊本日独協会合唱団

名付けられ、全国でも珍しい混声四部編成の合唱団が定期練習を楽しんでいます。

今年は「日本におけるドイツ05/06」、ドイツ年の催事や活動が全国的に展開されます。

「ドイツ年」熊本実

行委員会が昨年5月創設、準備が進められてきました。いよいよ開幕、「Prolog」展から始まります。5年前の「ドイツにおける日本年」では、ハイデルベルク・熊本友の会の協力で熊響アンサンブル、喜多流能楽公演の支援や会員による食と健康フォーラム、着物ショー、押し花展、また熊本市との協働事業をドイツ国内で数多く展開しました。来年にまたがる今回の「ドイツ年」は、ドイツの今、を紹介し、新たな交流展開を探る催しです。「ごいっしょにドイツしましょ」と多くの市民とのふれあいを呼びかけます。催事にお出かけくださり、お仲間にお入りください。

（会長 窪田 隆穂）



ハイデルベルク市の女性たちと「食のフォーラム」(00年に同市の日本レストランで)来年3月には熊本で「ハイデルベルグの食卓」を開催。

熊本・ハイデルベルク友の会 / 熊本日独協会 事務局

〒861-2106 熊本市東野3丁目14-1

Tel&fax (096)369-1561、090-7988-2566(協会専用)

Email; kubotaka@s8.kcn-tv.ne.jp (HP=準備中)

事務局長=重浦睦治 事務局総務=石坂美代子

事務局委員=大森健弘、木田綾子、西島純子、八木浩光、吉田李佳

日本におけるドイツ年・熊本イベント

・ドイツ年Prolog(プロログ)展

(3月10日～25日、熊本市国際交流会館2F交流ラウンジ)

ドイツの友人、ゆかりの方々のメッセージや交友団体などを紹介する開幕メッセージ展(17日まで)、ドイツ観光を一覧する観光ポスター展(19日～25日)。観光ポスター展はA1サイズ80枚を全国催事に先駆けて展示します。人気投票で一位の応募者から抽選でドイツ旅行などがプレゼントされます。入場無料。

- ・そのほかの主催および共催の催しは、ゲーテ朗読会(8月27日)、ドイツ音楽の夕べと記念レセプション(11月26日)、友の会・日独市民フォーラム(06年3月25日)、ドイツ環境展(同3月)などです。

・ドイツ映画マラソン～映像で見るドイツのこころ

(4月20日から06年3月15日までの、毎月第3水曜日、熊本市国際交流会館ホールおよび2F交流サロン)

4月からの毎月第3水曜日は「ドイツ映画マラソンの日」です。日ごろ、見ることの少ないドイツ映画を上映します。どの日も入場無料。熊本大学映画文化史講座などの講師陣による卓話が毎回あります。上映予定の作品は次のとおりです。ぜひお見逃しなく。

舞姫(4/20)、未完成交響楽(5/18)、カスパー・ハウザーの謎(6/15) オペラ<魔笛>(7/20)、エーミールと探偵たち(8/17)、パイロイト祝祭劇100年(9/21)、ベルリン・天使の詩(10/19)、名もなきアフリカの地で(11/16)、暗い日曜日(12/21)、マーサの幸せレシピ(06年1/18)、ヨーロッパ、ヨーロッパ(2/15)、映画の宝箱～ドイツ映画史講和(3/15)